

学校だより

明るく 元気に たくましく

平成26年11月27日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101

FAX 082-250-7102

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>

広島県教育委員会
広島県歯科医師会
表彰
平成26年度
学校歯科保健優良校
を受けました。



□ はじめに

早いもので今年も残すところ後1か月になりました。朝晩の冷え込みが日に日に厳しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。新聞紙上にもインフルエンザやノロウイルスによる食中毒はもとより、流行性耳下腺炎等の感染症流行の記事が連日のように掲載されるようになりました。いっそう保健指導の徹底に努めてまいります。御家庭におかれましても、お子様の健康管理に十分御留意くださいますようお願いいたします。皆様がお元気で、家族そろって今年一年を有意義に締めくくることができまよう、心よりお祈り申し上げます。

□ 公開授業研究会 ～第54回全国学校体育研究大会 広島大会 プレ大会～

11月13日(木)、本年度で第9回を迎える公開授業研究会を開催しました。本校は来年度11月12(木)13(金)に広島で開催されます第54回全国学校体育研究大会広島大会の特別支援学校の部において授業を公開し、研究発表を行います。全国大会を目標に、昨年度から3か年の研究計画を作成して推進しています。研究主題は、『やってみたい、やってみよう、もっとやりたいと思える体づくりの実践』です。昨年度は教材・教具の工夫に努め、興味・関心を大切に『やってみたいと思える体づくり』に取り組み、適切な運動の経験を広げることで基礎体力の向上を図ることができることを検証しました。本年度は『環境づくりに視点を当てた授業づくり』を副題として、児童生徒がやってみようと思える手立て、環境づくりはどうあるべきかを追求してきました。

『もっとやりたい!』とばかりに順番を待たずに飛び上がっていた児童、シュートが決まって友達とハイタッチで喜ぶ中学部の生徒、アクアビクスの掛け声を声がかれるまで掛け続けた見学の高等部生徒が授業の終わりに「みんなと一緒に泳ぎたかった・・・」と涙した姿を見たとき、これまでの取組は間違っていなかったと確信しました。生き生きとした表情、必死に取り組む姿、できた喜びの笑顔に、本当に胸が打たれました。来年度は更にグレードアップした取組を是非とも多くの方々に御覧いただきたいと願っています。

校外から56名の方々が来校されました。広島市教育委員会からも、教育委員長 井内康輝 様を始め、溝部ちづ子委員、藤本圭子委員、栗栖長典委員、鈴木由美子委員、橋場忠陽総務課長、児玉安司特別支援教育課長、野間泰臣教職員課服務・健康管理担当課長 他多くの方々においていただきました。

また、講演で本主題の下、教材・教具、支援ツールの工夫や提示の仕方や効果的なチームティーチングの在り方について御教示いただいた上越教育大学准教授 村中智彦先生に感謝申し上げますとともに、本校の授業改善の取組に際しまして、御懇切な御指導・御助言を賜りました、安田女子大学教授 徳永隆治先生、広島市教育委員会特別支援教育課指導主事 大久保誠先生、金本裕史先生、山形恵美子先生、広島市教育センター指導主事 戸田美鈴先生に厚くお礼申し上げます。

誠にありがとうございました。



村中先生による御講演



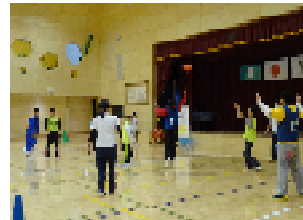
高等部の協議会の様子



小学部低学年 体育科
『たからじまヘレッツゴー!』



小学部第5学年 体育科
『走ってみたいでGO!GO!
ゴール!』



中学部ぐんぐんグループ
保健体育科『ポートボールをしよう』



高等部第1学年 保健体育科
『集団演技～パートI～』

□ 避難訓練

10月30日(木)に厨房から火災が発生したと想定し、避難訓練(火災)を行いました。避難訓練は「命を守るための学習」です。火災が発生したときにいかに迅速に安全な避難経路を判断し、適切な指示・誘導ができるかが非常に大切です。そのためには訓練といえど

避難後、放水訓練に見入る児童生徒



も緊迫感をもって避難訓練に臨むように常に教職員には指示をしています。児童生徒はこの「命を守るための学習」に真剣に取り組み、全員が整然と隊列を作って迅速に避難することができていました。今回は移転・開校して初めて、広島南消防署と水上消防署の消防隊に来ていただきました。「緊張感をもち、お（押さない）は（走らない）し（しゃべらない）も（戻らない）が徹底され、迅速に避難できていました。」と高い評価をいただきました。訓練の後はポンプ車がグラウンドに入り、迫力ある放水訓練を見学することができ、児童生徒は驚きの表情で見詰めていました。実施後の会議では避難後の安全確認を効率よく行う方法等の課題も整理し、12月には避難器具の安全な使用法の研修を行う計画を立てました。児童生徒がより安全に避難できるよう改善を図っていきたくて考えています。



消防車を間近で見学する児童生徒

□ 広島県特別支援学校 PTA 協議会 第15回 PTA 交流会

11月18日（火）平成26年度広島県特別支援学校PTA協議会、第15回PTA交流会を本校で開催しました。このPTA交流会は広島県内の特別支援学校がお互いの情報共有と児童生徒の健全な育成を図ることを目的として、15年前本校を会場にして第1回目を開催し、2巡目を迎えたものです。県立の特別支援学校15校から102名の参加者をお迎えし、本校参加者とスタッフを含めると200名を超える参加者が本校に集まりました。



講演「夢と希望に向かって」

校内見学・授業参観、私の「夢と希望に向かって」と題しての講演に加え、今回は高等部職業コース生徒による作業学習製品の販売・コーヒーサービスと合唱、生徒代表3名によるメッセージ発表という生徒が参加する新しい試みも行いました。特に、自分の将来を見据え、両親を始め、支えてくれたたくさんの方々へ感謝しながらこれからの人生を力強く頑張っていくとする気持ちを込めたメッセージと合唱は、会場から惜しみない絶賛の拍手をいただきました。



御多忙中、お越しいただいた広島県教育委員会特別支援教育課 千中博昭課長代理、広島市教育委員会特別支援教育課 児玉安司課長、大久保誠指導主事、前日までの準備から当日の案内・受付・進行まで抜群のチームワークで運営していただきました本校保護者のスタッフの皆様へ厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

職業コース「瀬戸内合唱団」による合唱

□ 高等部説明会・中学部説明会

10月31日（金）に高等部説明会、11月6日（木）に中学部説明会を行いました。来年度高等部に入学される中学部第3学年の保護者の方27名と中学部に入学される小学部第6学年の保護者の方が14名がそれぞれ参加されました。高等部説明会では進路指導主事による高等部の進路指導の取組と入学相談部担当より入学までの手続きについて説明をさせていただき、中学部説明会では中学部から始まる各教科等を合わせた指導で、勤労観・職業観を育みキャリア教育の中核となる作業学習の見学を行いました。熱心にメモを取りながら説明を聞いたり見学されたりする姿が印象的でした。活発な質疑応答に保護者の方の入学への期待感をひしひしと感じました。



クラフト作業を見学する小6保護者

□ 広島県特別支援学校 J S T 連絡会議

11月6日（木）午後から特別支援学校 J S T（ジョブサポートティーチャー）連絡会議を開催しました。J S T は生徒の就職支援のために県内の特別支援学校に平成18年度から配置され、本校には平成24年から1校専任で配置していただき、現在10名の J S T の方がおられます。現在の各校の進路状況等の報告と今後の取組、障害者雇用の現状についての研修を行いました。



県教委の西岡指導係長から「就職サポート隊ひろしま」について説明を受ける JST

□ 第8回文化の祭典（広島市教育委員会主催）

11月5日（水）～9日（日）にアステールプラザ市民ギャラリーで中学校の部の展示発表が行われ、本校中学部はモザイクアートの美術作品と平和学習で取り組んだ貼り絵共同作品を展示しました。小学校の部は12月2日（火）～7日（日）までアステールプラザ市民ギャラリーで、高等学校の部は1月8日（木）～11日（日）まで安佐南区民文化センターで行われ、本校小学部・高等部も出展をします。高等部はステージの部でも11日（日）に合唱の発表を行います。本校児童生徒の活躍ぶりを是非御覧になってください。



中学部生徒の作品

なお、本年度も広島市立広島商業高等学校ピースデパートに本校高等部も参加し、12月6日（土）7日（日）の2日間、作業学習で制作した製品を販売します。こちらにも是非、足を運んでいただけたらと思います。

□ 楽しかった！おいしかった！第35回障害子どもまつり

11月16日（日）障害子どもまつりが本校で開催されました。本校 P T A は「お菓子・おもちゃ釣り」「フライドポテト」「バザー」で参加・出店をしました。P T A 文化厚生部の役員の方々を始め50名の保護者の方にお手伝いをいただきました。皆さんのおかげで三つのコーナーは大盛況。楽しい！おいしい！とたくさんの笑顔の輪が広がりました。御協力ありがとうございました。



今年の新作の「フライドポテト」は大好評でした。

